

令和4年度 市内遺跡発掘調査報告書

2023

甲賀市教育委員会

序

甲賀市は滋賀県の南東部に位置し、国指定史跡である「紫香楽宮跡」・「垂水斎王頼宮跡」・「甲賀郡中惣遺跡群」・「水口岡山城跡」のほかに、現在、538箇所の周知の埋蔵文化財包蔵地が確認されています。また、市域には有形無形を問わず、多くの文化財が地域の皆様によって守られ、大切に受け継がれています。

地域に残る文化財は、先人から受け継いだ貴重な財産であり、この「地域の宝」を守り伝えていくことが私たちの責務であると考えます。

本報告書に記載している試掘調査は、開発行為に先立つ調査であり、埋蔵文化財の保護と土地利用の共存を図ることを目的としています。

最後になりましたが、本報告書を刊行するにあたり、ご協力いただきました関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

令和5年（2023年）3月

甲賀市教育委員会

教育長職務代理者 松山 顕子

例 言

1. 本書は甲賀市教育委員会が令和3年度に実施した試掘調査の概要をまとめたものである。なお、本書に掲載した調査は、令和3年度に現地調査を実施し、令和4年度に整理調査を実施した。
2. 本書で報告している試掘調査にかかる経費は、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（国庫補助金）および滋賀県文化財保存事業費補助金（県費補助金）を得た。
3. 令和3年度および令和4年度の甲賀市教育委員会における調査体制は以下の通りである。

【令和3年度】

調査主体 甲賀市教育委員会 教育長 西村 文一
調査事務局 甲賀市教育委員会事務局 歴史文化財課
課長 鈴木 良章
参事 桑田 美佐登
課長補佐 竹原 勝敏
埋蔵文化財係長 小谷 徳彦
主査 渡部 圭一郎
技師 伊藤 航貴（調査担当者）

【令和4年度】

調査主体 甲賀市教育委員会 教育長 西村 文一（～令和5年1月26日）
教育長職務代理者 松山 颯子（令和5年1月27日～）
調査事務局 甲賀市教育委員会事務局 歴史文化財課
課長 田村 勝也
参事 鈴木 良章
埋蔵文化財係長 小谷 徳彦
主査 渡部 圭一郎
技師 伊藤 航貴（調査担当者）

4. 本文の執筆・編集は伊藤が行った。また、本書に掲載した図面の作成は伊藤が担当した。
5. 本書で示す北は座標北である。
6. 本書で報告した試掘調査の図面・写真類については、甲賀市教育委員会が保管している。

目次

全体概要	1
21-03 次 西籬子塚古墳近接地	3
21-04 次 極楽寺遺跡	6
21-08 次 水口城遺跡	8
21-11 次 水口町酒人地先	13
21-12 次 富田山城遺跡	16

図版

図 1 試掘・分布調査位置図	2
図 2 21-03 次 調査対象範囲位置図	3
図 3 21-03 次 トレンチ位置図及び土層断面図	4
図 4 21-04 次 試掘調査対象範囲位置図	6
図 5 21-04 次 トレンチ位置図及び土層断面図	7
図 6 水口城遺跡既往調査位置図	8
図 7 21-09 次 トレンチ位置図および土層断面図	9
図 8 21-09 次 出土遺物	10
図 9 21-11 次 試掘調査対象範囲位置図	13
図 10 21-11 次 トレンチ位置図および土層断面図	14
図 11 21-11 次 出土遺物	14
図 12 21-12 次 試掘調査対象範囲位置図	16
図 13 21-12 次 トレンチ位置図および土層断面図	17

表

表 1	試掘・分布調査一覧	1
-----	-----------------	---

写真

写真 1	21-03 次	1 トレ全景	5
写真 2	21-03 次	1 トレ土層断面	5
写真 3	21-03 次	2 トレ全景	5
写真 4	21-03 次	2 トレ土層断面	5
写真 5	21-04 次	トレンチ全景	7
写真 6	21-04 次	土層断面	7
写真 7	21-04 次	掘り下げ後全景	7
写真 8	21-04 次	調査区全景	7
写真 9	21-08 次	1 トレ全景	12
写真 10	21-08 次	1 トレ検出土坑	12
写真 11	21-08 次	1 トレ土層断面 (西壁)	12
写真 12	21-08 次	2 トレ全景	12
写真 13	21-08 次	2 トレ土層断面 (南壁)	12
写真 14	21-08 次	3 トレ全景	12
写真 15	21-11 次	1 トレ全景	15
写真 16	21-11 次	1 トレ土層断面	15
写真 17	21-11 次	1 トレ掘り下げ	15
写真 18	21-11 次	2 トレ全景	15
写真 19	21-11 次	2 トレ土層断面	15
写真 20	21-11 次	3 トレ全景	15
写真 21	21-12 次	1 トレ全景	17
写真 22	21-12 次	1 トレ土層断面	17

全体概要

甲賀市では令和3年度に開発事業等にかかる埋蔵文化財の本発掘調査を1件、試掘調査及び分布調査を13件実施した。本発掘調査は、集合住宅建設に伴う記録保存調査で、調査成果は『貴生川遺跡第5次発掘調査報告書』を刊行した。

試掘調査は、周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、包蔵地）の範囲内が4件、同範囲外が9件であった。範囲外の調査は「甲賀市みんなのまちを守り育てる条例」の規定に基づき、開発事業の実施に先立ち、遺跡の有無を確認するために試掘調査及び分布調査を実施したものである。なお、開発に伴う試掘調査及び分布調査の件数は、令和2年度より9件減っている。

表1に令和3年度に実施した試掘・分布調査を一覧表にして示した。遺物の出土を確認した調査が2件、遺構の存在を確認した調査は1件であった。

本報告書では、包蔵地内と包蔵地近接地での試掘調査および埋蔵文化財を確認した試掘調査についてその概要を記述する。

表1 試掘・分布調査一覧

NO	内容	調査 次数	調査 開始日	調査 終了日	調査地			目的	目的 詳細	遺跡 有無	遺跡 名称	結果			
					町名	大字	小字					調査面積(m ²)	遺物	詳細	遺構
1	試掘	Z1-01次	R3.05.07	R3.05.07	土山町	北土山	和草野	工場	工場	無		24	×		×
2	試掘	Z1-02次	R3.06.07	R3.06.07	土山町	南土山	白川甲	wその他開発	太陽光発電	無		18.00	×		×
3	試掘	Z1-03次	R3.06.21	R3.06.21	水口町		泉	sガス・電気・水道等	受水タンク設置	近接地	西織子塚古墳	14.00	×		×
4	本発掘	KBS	R3.7.9	R3.8.31	水口町	貴生川	森立	h住宅	集合住宅	あり	貴生川遺跡				
5	試掘	Z1-04次	R3.7.27	R3.7.27	甲賀町		上野	i個人住宅	個人専用 一戸建住宅	あり	極楽寺遺跡	6.00	×		×
6	試掘	Z1-05次	R3.7.27	R3.7.27	甲南町		寺庄	雑余	n宅地造成	分譲住宅	無	30.00	×		×
7	試掘	Z1-06次	R3.08.02	R3.08.02	土山町	大野	北宿	mその他建物	クラッシャー増設	無		30.00	×		×
8	分布調査	Z1-09次	R3.08.10	R3.08.10	水口町	新城	東山田	wその他開発	太陽光発電	無					
9	試掘	Z1-07次	R3.10.28	R3.10.28	水口町	北脇	中切	k店舗	店舗	無					
10	試掘	Z1-08次	R3.10.29	R3.10.29	水口町		中部	mその他建物	介護施設	あり	水口城遺跡				
11	試掘	Z1-10次	R3.12.09	R3.12.09	水口町	伴中山	平尾	mその他建物	認定こども園	無		60.00	△		×
12	試掘	Z1-11次	R4.02.10	R4.02.10	水口町		酒入	将軍地	工場	無		18.00	○	瓦葺、土師器	×
13	試掘	Z1-12次	R4.03.04	R4.03.04	甲賀町		上野	wその他開発	墓地	あり	富田山城遺跡		×		×
14	分布調査	Z1-13次	R4.03.18	R4.03.18	信楽町	江田	猪ノ谷	wその他開発	競走馬トレーニング施設	無					

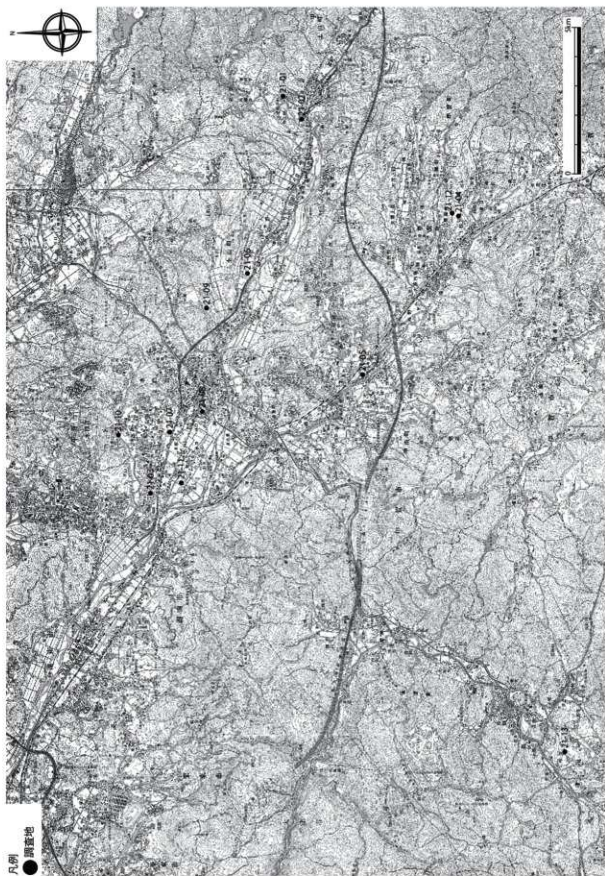


図1 試掘・分布調査位置図

21-03次 西罐子塚古墳近接地

調査位置と調査経緯

西罐子塚古墳は、水口町泉に位置する5世紀前半に築造された帆立貝形古墳であり、東罐子塚古墳とともに「泉古墳群」として滋賀県指定史跡に指定されている。古墳は、丘陵尾根頂部付近に立地しており、水口盆地を一望できる立地をしている。

西罐子塚古墳は、墳丘上にある稲荷社の建築に伴う削平や、工場造成に伴う削平を受けており、完全な姿ではない。しかし、現状の地形から墳長は70m以上で、後円部は直径50mと推定される。墳丘は3段築造で、北西部には周濠が残存する。

墳丘斜面には、葺石とみられる礎石が確認でき、また、墳丘では埴輪片が採集されており、埴輪が樹立されていたとみられる。埋葬施設は粘土槨もしくは木棺直葬と考えられている。

今回、古墳の南側で上水道の受水槽設置が計画された。計画地は周知の埋蔵文化財包蔵地内ではないが、古墳に近接しており、これまで発掘調査を実施していなかったことから、事業者の協力を得て、試掘調査を実施した。

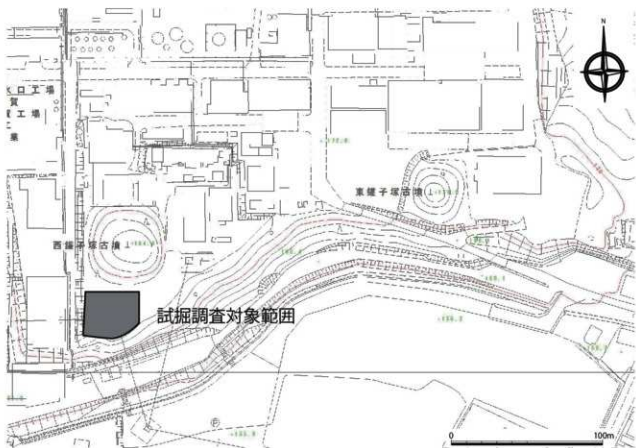


図2 21-03次 調査対象範囲位置図

調査概要

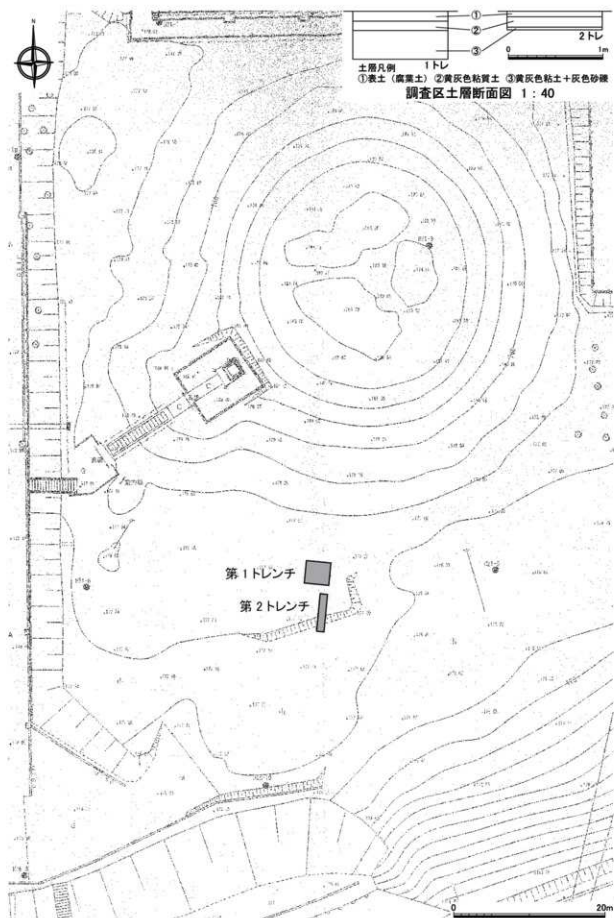


図3 21-03次 トレンチ位置図及び土層断面図

調査区は、第1トレンチを3×3m、第2トレンチを1×5mで設定し、調査合計面積は14㎡となった。基本層序は、①表土（腐葉土）、②黄灰色粘質土、③黄灰色粘土+灰色砂礫で、②・③層は地山である。現況地表面から10cm程度で②層、20～25cmで③層に達する。

調査の結果、遺構や遺物は確認できなかった。調査地は、工場の敷地造成により丘陵地形の削平を受け、地形改変を受けているとみられる。

まとめ

今回の調査では、西織子塚古墳に関する新たな遺構・遺物は確認できなかった。古墳は工場敷地内に保存されており、一部削平を受けているが大部分は良好な保存状態である。今後も、事業者と協議しながら、適切に保存できるように努めていきたい。

《参考文献》

甲賀市史編さん委員会 2013『甲賀市史』第5巻 信楽焼・考古・美術工芸



写真1 21-03次 1トレンチ全景



写真2 21-03次 1トレンチ土層断面



写真3 21-03次 2トレンチ全景



写真4 21-03次 2トレンチ土層断面

21-04 次 極楽寺遺跡

調査位置と調査経緯

極楽寺遺跡は、甲賀町上野に位置する寺院跡である。極楽寺は605年に聖徳太子の開基といわれ、永祿年間(1558～1570年)に兵火により、堂宇をことごとく焼失したと伝えられている。遺跡周辺では、阿弥陀堂、堂ヶ谷、蓮池、門の前、念仏坂、角の坊、地藏堂などの寺院に関係する地名が残る。なお、現在の極楽寺は遺跡から南に約500mの場所にある。

極楽寺遺跡では、平成9年度から14年度に甲賀町教育委員会が実施した町内遺跡詳細分布調査で、瓦や陶器を採集している。なお、発掘調査は試掘調査も含め実施していない。

今回報告する21-04次は個人住宅建設に伴う試掘調査である。

調査概要

調査区は、2×3mのトレンチを設定し、調査面積は6㎡となった。基本層序は、①礫混じり灰褐色粘質土(表土 造成土)、②灰褐色粘質土、③黄灰色粗砂礫+黄灰色粘質土(地山)で、現況地表面から約25cm程度で③層に達する。

調査の結果、遺構は樹木の根などによる攪乱のみで、遺物は確認できなかった。

まとめ

今回の調査では、極楽寺遺跡に関する新たな埋蔵文化財は確認できなかった。極楽寺遺跡の範囲は大部分がほ場整備後の水田であり、削平を受けている可能性が高い。

《参考文献》

甲賀町教育委員会 2003『甲賀町内遺跡詳細分布調査報告書』



図4 21-04次 試掘調査対象範囲位置図

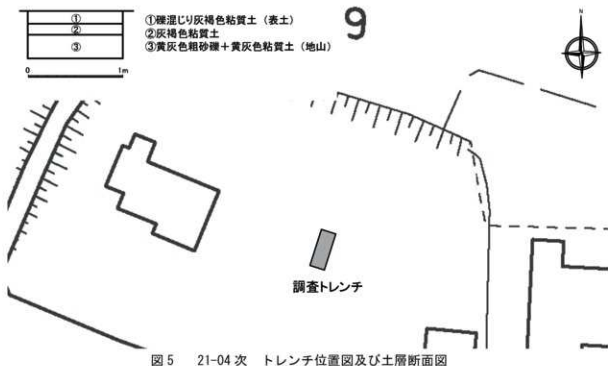


写真5 21-04次 トレンチ全景



写真6 21-04次 土層断面



写真7 21-04次 掘り下げ後全景



写真8 21-04次 調査地全景

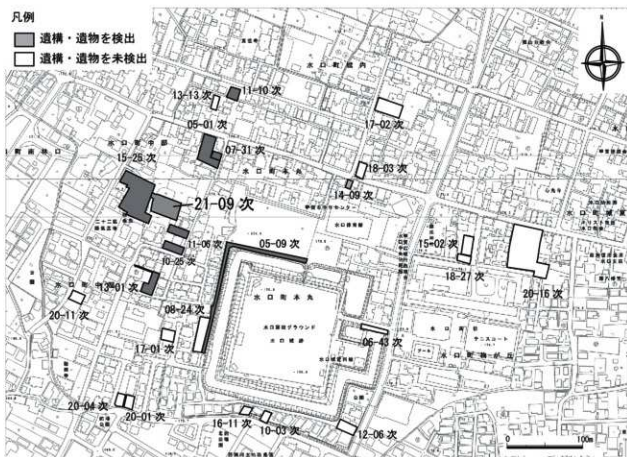
21-08 次 水口城遺跡

調査位置と調査経緯

水口城は、寛永11年(1634年)に徳川家光の上洛時の宿館として築かれた。水口城は、寛永11年の上洛の際に利用されただけで、その後は利用されることなく、城番によって管理されていた。天和2年(1682年)には加藤明友が水口藩の初代藩主として入封し、居城とした。元禄8年(1695年)には鳥居氏が城主となるが、正徳2年(1712年)に加藤氏が再び入封し、城主となった。明治4年(1871年)には廃藩置県によって大蔵省所有となり、その後払い下げられ、現在は県立水口高等学校のグラウンドとして利用されている。なお、昭和47(1972)年に本丸部分が滋賀県の史跡に指定された。

水口城遺跡は、「水口城郭内絵図」に描かれている、二の丸と家臣団屋敷を含めた郭内が遺跡の範囲である。水口城遺跡では、これまでに本発掘調査は実施しておらず、小規模な試掘調査がほとんどである。試掘調査は、21件実施しており、本丸北西側を中心に近世の遺構や遺物を確認している。15-25次では、堅穴建物を検出し、11-06次、10-25次では、時期不詳の土坑を検出している。また、堀外周を巡る周遊道路工事に伴う試掘調査(05-09次)では、下層から平安時代中期の緑軸陶器などが出土した。しかしながら、遺跡内は宅地化が進んでおり、明確な遺構を確認した調査はごくわずかであり、遺跡の詳細は不明である。

今回報告する21-08次は介護施設建設に伴う試掘調査である。



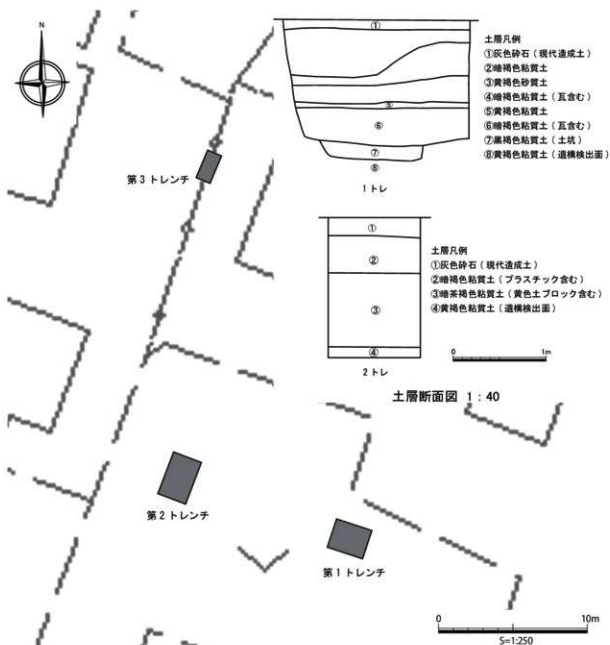


図7 21-09次 トレンチ位置図および土層断面図

調査概要

第1トレンチ (2m×3m)

土層の堆積状況は、上から①灰色砕石、②暗褐色粘質土、③黄褐色砂質土、④暗褐色粘質土 (瓦含む)、⑤黄褐色粘質土、⑥暗褐色粘質土 (瓦含む)、⑦黄褐色粘質土 (遺構検出面) で、現地表面から約140cm下で⑦層を確認した。

②～⑥層は、近世から近代の瓦が含まれており、近世以降に造成されたと考えられる。⑦層で、土坑を確認している。

土坑は、トレンチ北壁側で検出し、深さ20cmを測る。埋土からは須恵器、土師器が出土しており、古墳時代～古代のものと考えられる。

第2トレンチ (2m×3m)

土層の堆積状況は、上から①灰色碎石、②暗褐色粘質土 (プラスチック含む)、③暗茶褐色粘質土 (黄色土ブロック含む)、④黄褐色粘質土 (遺構検出面) で、現地表面から約140cm下で③層を確認した。

②層にはプラスチック片が含まれており、現代の造成土である。③層には近世～近代の瓦が含まれる。④層は、第1トレンチで遺構が確認された黄褐色粘質土と同じ層であり、ピットを検出した。このピットは、深さが約10cmと浅く、遺物は出土しなかった。

第3トレンチ (2×1m)

土層の堆積状況は、①暗灰色土、②黄褐色砂質土、③暗茶褐色粘質土 (瓦含む)、④暗灰褐色砂礫層 (地山) で、約200cm下で④層を確認した。

③層には近世から近代の瓦が含まれており、造成土と考えられる。第1・2トレンチのように黄褐色粘質土の層は確認されなかった。

出土遺物

21-08次では、須恵器、磁器、陶器、瓦が出土した。なお、須恵器のみ第1トレンチから出土し、その他は第3トレンチから出土した。

1は須恵器甕。体部が残存する。外面は叩き目痕、内面には同心円状の当て具痕が確認できる。胎土は精良、焼成は硬質である。

2は磁器の椀。口縁から体部にかけて残存する。口径は10cm、器高は3.9cm。胎土は精良

3は陶器の蓋である。体部のみ残存する。内外面ともにロクロナデで調整し、透明釉がかかる。

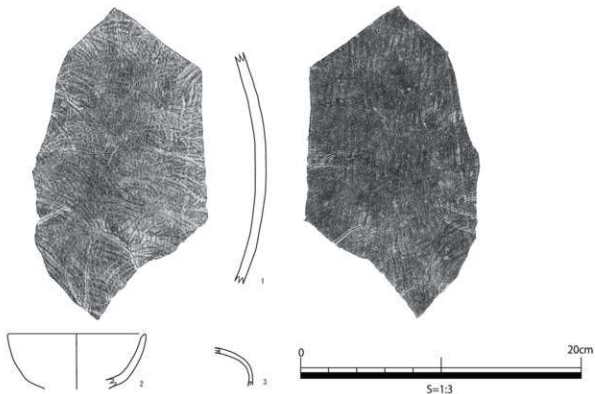


図8 21-09次 出土遺物

まとめ

今回の試掘調査の結果をまとめると、下記の通りである。

①遺構の存在する範囲

遺構は第1トレンチで検出しているが、第2トレンチにおいても遺構が確認された黄褐色粘質土の層が確認されている。そのため、調査対象範囲の南半部において、さらに遺構が確認される可能性があることから、遺構保護対象となる。なお、保護対象となった遺構は、開発範囲から除かれ、現地保存されている。

第3トレンチにおいては、遺構および黄褐色粘質土の層は確認されなかったため、保護対象とはならない。

②遺構検出面の深度

遺構検出面上面までの深さは、現状の地表面から約140cmを測る。

③遺跡の時代と種類

今回調査を実施した水口城遺跡は、江戸時代の水口藩の武家屋敷地に推定される場所である。今回の調査地では、近世から近代の瓦は出土するものの、水口城に関連する遺構は確認できなかった。しかし、近世以降の造成土の下では、黄褐色粘質土の層が確認され、古墳時代にさかのぼる遺構と遺物を確認した。

西側隣接地では、これまでの調査で古代から平安時代の集落跡が確認されており、今後、調査地周辺においても、同時期の遺構が確認される可能性がある。

《参考文献》

甲賀市史編纂委員会 2010『甲賀市史 第7巻 甲賀の城』

甲賀市教育委員会 2012『甲賀市埋蔵文化財調査年報』

甲賀市教育委員会 2020『令和元年度市内遺跡発掘調査報告書』



写真9 21-08次 1トレ全景



写真10 21-08次 1トレ検出土坑



写真11 21-08次 1トレ土層断面(西壁)



写真12 21-08次 2トレ全景

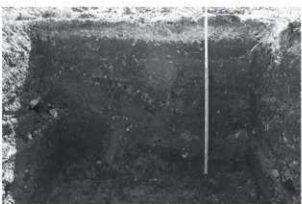


写真13 21-08次 2トレ土層断面(南壁)



写真14 21-08次 3トレ全景

21-11次 水口町酒人地先

調査位置と調査経緯

水口町酒人は、水口町の中西部に位置し、南を野洲川が流れる。酒人地内で遺跡は確認されていないが、中世は柏木荘、伊勢神宮領の柏木御厨のうち酒人郷に属していた。

今回の調査地は集落の北側にある。調査地の東側には植遺跡が立地し、調査地周辺では、16-26次、18-29次の2次にわたり試掘調査を実施している。16-26次では、遺物が出土するものの二次堆積によるもので、18-29次では遺構遺物ともに確認できていない。

今回報告する21-11次は工場建設に伴う試掘調査である。

調査概要

調査区は、 2×3 mを3箇所設定し、合計面積は18 m^2 となった。基本層序は、①黒灰色粘質土（耕作土）、②暗灰色粘質土（床土）、③黄灰色粘質土、④暗茶褐色粘質土、⑤灰褐色砂質土（地山）で、現況地表面から約80 cm下で⑤層に達する。

今回の調査で、遺構は確認できなかった。遺物は第1トレンチの③層と④層で出土した。なお、出土した遺物は遺構に伴うものでなく、二次堆積層に含まれていた。



図9 21-11次 試掘調査対象範囲位置図

出土遺物

第1トレンチから瓦器、土師器、陶器が出土した。

4～7は瓦器の椀である。いずれも口径は14～16 cmで口縁から体部にかけて残存する。内面のみミガキを施す。

8は土師器の皿である。口径9 cm、器高1.3 cm、内外面ともにナデ。焼成は軟質で、色調は黄灰色を呈する。

9は陶器の椀である。底部のみ残存する。削り出しの低い高台がつく。焼成は軟質で、色調は黄灰色を呈する。

まとめ

今回の調査では、13世紀代の遺物が少量出土した。遺物は、二次堆積層に含まれたものであり、遺構に伴うものではない。また、第2、3トレンチでは、遺構遺物ともに出土していないため、調査地では新たな遺跡を確認できていない。今後の調査に期待したい。

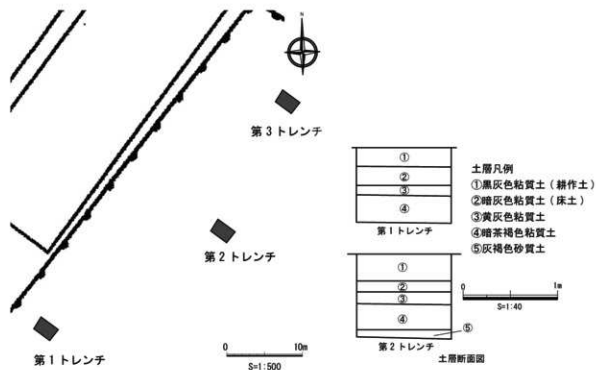


図10 21-11次 トレンチ位置図および土層断面図

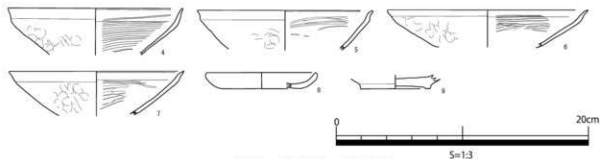


図11 21-11次 出土遺物



写真 15 21-11 次 1トレ全景



写真 16 21-11 次 1トレ土層断面



写真 17 21-11 次 1トレ掘り下げ



写真 18 21-08 次 2トレ全景

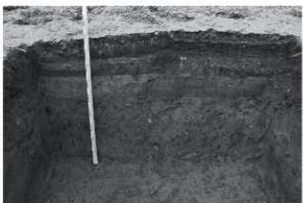


写真 19 21-11 次 2トレ土層断面



写真 20 21-11 次 3トレ全景

21-12次 富田山城遺跡

調査位置と調査経緯

富田山城遺跡は、甲賀町上野のうち、北上野集落北側の丘陵上に立地する。富田山城の城主は、上野富田氏と伝わり、南方の平地には富田屋敷の伝承地がある。城は、平地との高低差が約30mで、主郭は四方を土塁で囲むが、南北に長い形態をしている。なお、富田山城の東には観音堂城遺跡があり、食い違い虎口を備えるなど、富田山城と比較して高度な防御技術を駆使した城である。

富田山城遺跡では、これまで発掘調査は実施しておらず、甲賀市史編さんに伴う縄張調査によって、城の詳細な規模や形態が明らかになっている。

今回報告する21-12次は墓地造成に伴う試掘調査であり、城の西側の谷で実施した。

調査概要

調査区は、2×3mを1箇所設定し、面積は6㎡となった。基本層序は、①茶褐色粘質土（表土）、②暗黒褐色粘質土、③明茶褐色土含む黄灰色砂質土、④明茶褐色粘質土（粘土ブロック含む）で、現況地表面から約50cm下で④層に達する。

調査の結果、遺構造物ともに確認できなかった。

まとめ

今回の調査では、富田山城遺跡に関する新たな埋蔵文化財は確認できなかった。城は丘陵上に位置しており、西側の谷には城に関する構造物は無かったと考えられる。しかし、南方には屋敷地の伝承もあるように、今後調査の実施によっては、城の南方の平地で、上野富田氏の屋敷地が確認できる可能性がある。

《参考文献》

甲賀市史編纂委員会 2010『甲賀市史 第7巻 甲賀の城』

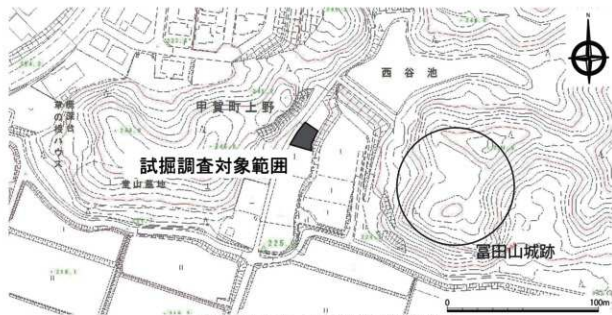


図12 21-11次 試掘調査対象範囲位置図

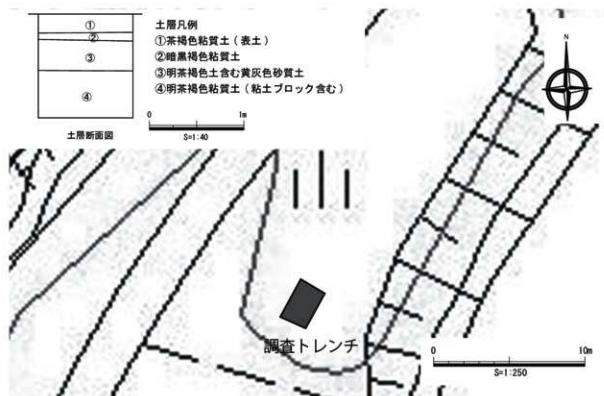


図 13 21-12 次 トレンチ位置図および土層断面図



写真 21 21-12 次 1 トレ全景

写真 22 21-12 次 1 トレ土層断面

ふりがな	れいわよねんど しないいせきはつかつちょうさほうこくしょ							
書名	令和4年度 市内遺跡発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	甲賀市文化財報告書							
シリーズ番号	第40集							
編著者名	伊藤 航貴							
編集機関	甲賀市教育委員会							
所在地	滋賀県甲賀市水口町水口6053番地							
発行年月日	令和5年(2023年)3月24日							
所収遺跡	所在地	コード		世界測地系		調査面積 (㎡)	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
にしかんづかこじん 西罐子塚古墳 かんづか 近接地	みなくちよしいづみ 水口町泉	25209	363-019	34° 98' 68.3"	136° 13' 31.8"	14	2021/6/21	受水槽設置
ごくらくさいげき 極楽寺遺跡	こさかちよらぎの 甲賀町上野	25209	365-127	34° 89' 35.4"	136° 23' 28.6"	6	2021/7/27	個人住宅
みなくちよしいづき 水口城遺跡	みなくちよらぎの 水口町中部	25209	363-113	34° 97' 19.5"	136° 16' 27.1"	14	2021/10/29	介護施設
みなくちよらぎの 水口町酒人地先	みなくちよらぎの 水口町酒人	25209	—	34° 97' 76.6"	136° 13' 67.3"	18	2022/2/10	工場
とみたやまじょういづき 富田山城遺跡	みなくちよらぎ 水口町種	25209	365-069	34° 89' 50.7"	136° 23' 50.4"	6	2022/3/4	墓地
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
西罐子塚古墳 近接地	古墳	古墳						
極楽寺遺跡	社寺跡	その他						
水口城遺跡	城館跡	近世		土坑		須恵器、土師器		
水口町酒人地先						瓦器、土師器、陶器		
富田山城遺跡	城館跡	中世						

甲賀市文化財報告書第40集
令和4年度 市内遺跡発掘調査報告書

印刷・発行 令和5年3月24日
編集・発行 甲賀市教育委員会
滋賀県甲賀市水口町水口6053番地
TEL 0748-69-2250
FAX 0748-69-2293
印刷 株式会社トップ

